

会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
発行責任者 宮島喜文
編集責任者 深澤憲治

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
ホームページ <https://www.jamt.or.jp>

P1 日臨技支部医学検査学会開催報告(5)【近畿支部】
P2 全国「検査と健康展」2022 各地からの報告 第2回
P3~P10 2023年度 日臨技臨床検査精度管理調査実施要領

日臨技支部医学検査学会開催報告(5)

令和4年度 近畿支部医学検査学会

変化 ～ 未来の検査室への予期・探知・適応 ～

学会長 真田 浩一
実行委員長 松田 武史



EventIn 画面



宮島会長基調講演：
人口減少社会の到来と
臨床検査技師

令和4年12月3日(土)・4日(日)の2日間にわたり神戸常盤大学で開催いたしました令和4年度 日臨技近畿支部医学検査学会(第61回)は、多数の皆様のご支援とご協力により、近畿圏を中心に約700名の参加者を集め、成功裏の内に無事終了いたしました。ご参加並びにご支援いただきましたすべての皆様方に心より御礼申し上げます。

Afterコロナ、Withコロナを見据え、多機能ブース型のイベントプラットフォーム「EventIn」によるハイブリッド開催+オンデマンド配信での開催を選択し、現地開催の雰囲気やWeb上でどこまで再現できるかにチャレンジしました。完成形とは言えませんが、今後の学会の新たなスタイルの一つを皆様に提案できたのではないかと思います。

そして、大きくパラダイムシフトしている今、いわゆる「ニューノーマル時代」を生き抜いて欲しいと言う願いをこめ今年学会のテーマは「変化～未来の検査室への予期・探知・適応～」とし、神戸アイセンター研究センター支援部門長の前田忠郎先生による網膜再生医療に関する講演、大阪大学医学部附属病院 感染制御部の忽那賢志先生および山本剛先生によるCOVID-19 Up to dateに関する講演、理化学研究所 生命機

能科学研究センター 上級研究員の神田元紀先生によるラボラトリーオートメーションの最前線に関する講演などを企画しました。

今回の学会が、現在の臨床検査が抱える問題点や課題の解決の糸口になること、さらに、今後我々が進むべき方向性についての栞(しおり)になることを信じています。

本学会が無事終了できたのは、多くの方々に支えられたおかげだと実感しています。学会のプログラムにご協力いただいた先生方や座長・司会の皆様、学会開催にご支援とご協力をいただいた関係団体や企業の皆様、遠方よりお越しいただいた参加者の皆様、スムーズな学会運営のために多大なエネルギーを割いていただいた運営スタッフの皆様、すべての方々に感謝いたします。

最後に、令和5年度に和歌山県臨床検査技師会担当で開催予定の日臨技近畿支部医学検査学会(第62回)の成功、および、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、御礼の言葉に代えさせていただきます。ありがとうございました。

全国「検査と健康展」2022 各地からの報告 第2回

宮城県



宮城県では今回3年ぶりに、令和4年11月6日イオンモール名取にて、10時から14時まで開催しました。「検査体験コーナー」では、骨年齢推定（骨密度検査）、血管年齢推定（指尖脈波検査）、動脈硬化推定（頸動脈超音波検査）の3つで、規模は例年に比べて縮小しましたが、様々な年齢層からなる80名の方が訪れました。多くの方が日頃の健康状態を気にされているようで、開催に対して好意的な声が聞かれました。母娘連れなど若い年齢層の参加者、幼い子供連れの方も見られました。臨床検査のさまざまな分野を説明しているパネルの前での説明にも関心を持って聞かれ、自身や家族の経験と照らし合わせて納得される様子も見られました。

「相談コーナー」では日本臨床検査専門医会から派遣された医師が希望者の健康相談に応じ、9名の方が相談されていました。どの方も熱心に先生の真摯な説明を聞いておられました。来場者アンケートでは80名中70名から回答が寄せられ、「大変良かった」との感想が多かったそうです。多くの方に臨床検査を知っていただき、健康に対する意識を高められたのと考えます。

（宮城県臨床検査技師会 佐藤 正樹）

秋田県



令和4年11月6日（日）に「検査と健康展 in 由利本荘」を由利本荘市文化交流館カダーレで開催しました。今回、由利本荘市では初めての開催であり、広く臨床検査技師という職業や仕事について知ってもらい、中高校生にこの職業を目指してもらえれば、という思いで企画・運営を行いました。臨床検査技師の仕事のパネルの展示やパンフレットの配布、顕微鏡や超

音波機器を实际触ってもらい、マイクロピペット操作やPPE装着の体験もしていただきました。現在秋田県には臨床検査技師養成学校がないため、どこにどのような学校があるのかを地図で作成し、実際の学校案内を手に取り見てもらいました。短い時間ではありましたが、私たち技師も来場者との楽しい時間を過ごせました。また、大人の方々には検査専門医による健康相談や血圧測定、CAVI検査にも満足していただけたと思います。次回の開催では、もっと多くの地元市民の皆さんに来ていただけるような「検査と健康展」にしていきたいと思っています。

（秋田県臨床検査技師会 佐藤 多佳子）

山梨県



11月3日（木）イオンモール甲府昭和店3階イオンホールにて「検査と健康展」を開催しました。withコロナでの生活に向けて、積極的に開催するべくポスター掲示及び、ゆるキャラによる宣伝を解禁しました。例年通り、高校生向け企画・保護者企画と一般来場者向け企画の3本立てとし、高校生臨床検査技師体験では保護者方に高校生の受講姿を見ていただき、臨床検査技師の資格を取得するために必要な情報、就職先などの講話の後にQ&Aを設けることで職業選択の一助として理解を深めていただきました。高校生体験の指導者に若手を配置することで、実習内容への質問や臨床検査技師になるための質問はもちろん、リアルな大学や専門学校での状況を提供することができました。アンケート調査にて保護者からの「詳しく知ることができた」などのコメントが得られ、高校生からは「詳細な仕事内容を知ることができた」「臨床検査技師として働くうえで必要な、国家資格以外の資格を知りたい」「血液型検査で血液がなぜ固まるのかを知りたい」など昨年と比べて踏み込んだコメントが得られました。

一般来場者企画では、検査を待つ方たちがが途切れることなく来場されるも、人数制限を決めたため密集せず検査を行うことができました。検査実施時から、「健康相談」を目的として見える方も多く、昨年よりも多くの方を健康相談に案内し、医師と面談していただくことができました。

（山梨県臨床検査技師会 山口 理香）

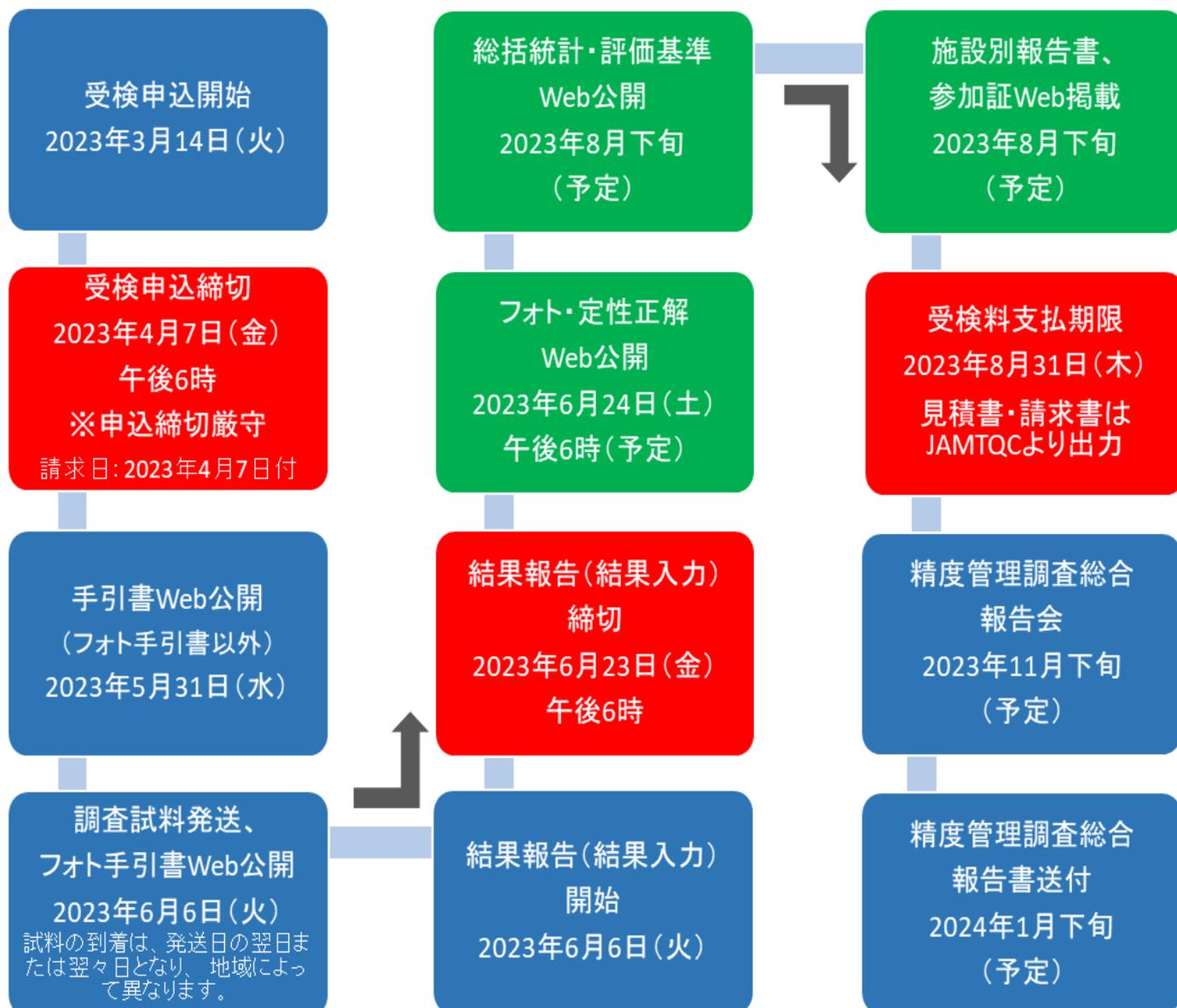
2023年度 日臨技臨床検査精度管理調査実施要領

当会が実施する「日臨技臨床検査精度管理調査」は、臨床検査の全分野を網羅する国内唯一の外部精度管理調査であり、4,400を超える参加施設があります。平成30年12月より施行された改正省令（平成30年厚生労働省令第93号）においても、当会の精度管理調査は、受検に努めることとされている外部精度管理調査（改正後医療法施行規則第9条の7の2第2項関係）の受検先として推奨されているところです。

当会では、単に精度管理調査の実施にとどまらず、是正・サポートも含めた検査室の品質保証施設認証制度による総合臨床検査品質保証体制の構築も視野に入れております。

受検を希望されるご施設は、以下に記載されている説明をご熟読の上、お申込みくださるようお願いいたします。なお、お申込みできる期間、および申込数には制限がありますのでご注意ください。

I. 調査実施日程(予定)



II. 受検番号および受検料

受検コースは、1～13、S1、S2の15コースに分かれています。

1～13およびS1、S2の受検番号より、申込みを希望する番号を選択してください。

ただし、受検項目が重複する受検番号の組み合わせは選択することができません。

(例：1番と11番、2番と3番、4番と5番 等)

受検番号	受検項目	受検料 (税込)
1	基本項目(①臨床化学、②免疫血清、③血液、④一般)	24,444円
2	微生物A(グラム染色、フォトサーベイなど)	4,074円
3	微生物B(グラム染色、細菌同定2種、細菌薬剤感受性2種、 フォトサーベイなど)	14,259円
4	輸血A(ABO血液型、RhD血液型)	15,277円
5	輸血B(ABO血液型、RhD血液型、不規則抗体スクリーニング、 不規則抗体同定、試験管法による凝集反応、フォトサーベイ)	18,333円
6	遺伝子A(結核菌群定性)	12,222円
7	遺伝子B(HCV定量、HBV定量)	16,296円
8	生理	2,037円
9	細胞	2,037円
10	病理	2,037円
11	1 + 3 + 5 + 8 + 9 + 10	57,037円
12	11+6	65,184円
13	11+6+7	81,481円
S1	免疫血清(甲状腺項目:TSH、FT4)	13,200円
S2	遺伝子(SARS-CoV-2遺伝子核酸増幅)	7,000円

Ⅲ. 受検項目

貴施設で自ら実施している検査項目のみ受検することができます。

※外部に委託している検査項目は受検できません。

1. 基本項目		オプション項目
① 臨床化学	② 免疫血清	2. 微生物A
グルコース(Glu)	フェリチン	グラム染色
総ビリルビン(TB)	AFP	フォトサーベイ等 【設問文からの菌推定など】
直接ビリルビン(DB)	HBs抗原(定性・定量)	3. 微生物B
ナトリウム(Na)	HCV抗体(定性・定量)	グラム染色
カリウム(K)	梅毒TP抗体(定性・定量)	細菌同定2種
クロール(Cl)	CEA	細菌薬剤感受性2種
カルシウム(Ca)	PSA	フォトサーベイ等 【設問文からの菌推定など】
無機リン(IP)	β 2マイクログロブリン(β 2M)	4. 輸血A
鉄(Fe)	リウマトイド因子(RF)定量	ABO血液型
マグネシウム(Mg)	③ 血液	RhD血液型
総蛋白(TP)	ヘモグロビン濃度	5. 輸血B
アルブミン(Alb)	血小板数	ABO血液型
尿素窒素(UN)	白血球数	RhD血液型
クレアチニン(Cre)	赤血球数	不規則抗体スクリーニング
尿酸(UA)	平均赤血球容積(MCV)	不規則抗体同定
総コレステロール(TC)	ヘマトクリット値	試験管法による凝集反応
中性脂肪(TG)	プロトロンビン時間	机上問題(抗体同定)
HDL-コレステロール(HDLC)	活性化部分トロンボプラスチン時間	6. 遺伝子A
LDL-コレステロール(LDLC)	フィブリノゲン量	結核菌群(TB)定性
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)	フォトサーベイ等 【血液像、その他】	7. 遺伝子B
アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)		C型肝炎ウイルス(HCV)定量
アルカリホスファターゼ(ALP)	④ 一般	B型肝炎ウイルス(HBV)定量
乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)	尿蛋白(定性)	8. 生理
クレアチンキナーゼ(CK)	尿糖(定性)	フォトサーベイ 【心電図、超音波、神経生理、呼吸機能、聴覚】
γ-グルタミルトランスフェラーゼ(GGT)	尿潜血(定性)	9. 細胞
アミラーゼ(AMY)	便中ヒトヘモグロビン(定性・定量)	フォトサーベイ 【婦人科、呼吸器、その他】
コリンエステラーゼ(ChE)	フォトサーベイ等 【尿沈渣、脳脊髄液、寄生虫、その他】	10. 病理
尿グルコース(uGlu)		フォトサーベイ等 【病理標本作製技術、その他】
尿蛋白(uPro)		S1. 免疫血清(甲状腺項目)
尿クレアチニン(uCre)		甲状腺刺激ホルモン(TSH)
ヘモグロビンA1c(HbA1c)※NGSP値		遊離サイロキシン(FT4)
C反応性蛋白(CRP)		S2. 遺伝子(SARS-CoV-2遺伝子)
免疫グロブリンG(IgG)		SARS-CoV-2遺伝子(核酸増幅)
免疫グロブリンA(IgA)		
免疫グロブリンM(IgM)		

IV. 受検申込み方法 ※申込み締切り後は、受付できません。

1. 申込みに当たって

本精度管理調査はWebを介してのみ受検、申込み頂いております。

精度管理調査のWebサイトに入るためには、「施設番号」、および「施設パスワード」が必要となります。当会登録施設には、「施設番号」、「施設パスワード」、および「実施要領」を2023年3月14日（火）に郵送いたします。なお、この「実施要領」は日臨技ホームページ、JAMTQC参加施設向けシステムにも掲載しております。

※お申込みには、当会に施設登録が必要となります。

2. 申込み方法

当会のホームページ <https://www.jamt.or.jp/>より、トップページの上段左から2番目のバナー  をクリックし、『JAMTQC 参加施設向けシステム』から施設番号と施設パスワードを入力してログイン、『事務メニュー』⇒『精度管理事業』を選択してお申込みください。

なお、画面右上に『入力ガイド』を掲載していますので、ご参照ください。

※試料は充分用意していますが、申込期間内であっても受検申込数が試料準備数に達した場合は、その時点で受付を終了します。

※申込み受付終了後の申込み内容の変更、キャンセル等は一切お受けできません。

3. 受検申込み期限

2023年3月14日（火）午前10時 ～ 4月7日（金）午後6時まで

V. 受検料の支払いについて

受検料の振込期限 : 2023年8月31日（木）厳守

※請求書の発行日は、受検申込締切日の2023年4月7日付となります。

受検料の支払方法 : 払込票（コンビニ及び郵便局払い）

※2023年度より、受検料の支払方法が「銀行振込」から「払込票」に変更となります。
受検料の支払方法にご注意ください。

払込票は、精度管理調査申込画面『受付入力』－『請求先』にご入力された住所、担当者宛に郵送でお送りします。申込終了後の修正等はできませんので、ご入力内容にお間違いがないことをご確認いただき、お申込みをお願いします。

また、請求書の出力は従来とおり各施設でお願いします。出力方法は、JAMTQCシステムにログイン⇒『事務メニュー』⇒『精度管理事業』⇒『請求書』から出力できます。

以下の事項にご留意ください。

- 1) 「見積書」、「納品書」、「請求書」は、受検申込み締切日以降に『事務メニュー』から打ち出し可能となりますので、必要な場合は印刷してご使用ください。当会にて、受検料の入金確認後より領収書の印刷が可能となります。
- 2) 当会から発行いたします「見積書」、「納品書」、「請求書」などの信憑書類について、発行日の変更、押印等の対応はいたしません。ご承知おきください。当会では、申込確定日（締切日）を請求日としています。

VI. 日臨技からのお願い

◇調査データの第3者への提供について

この精度管理調査の集計結果は、各都道府県、支部、経営主体別技師会などより提供の依頼があった場合や、担当役員・委員が必要と判断した場合に、当会執行理事会にて、そのデータ利用目的の妥当性を審議した後に、これを提供することがあります。また、不良評価に対してサポート事業の目的で、都道府県技師会へ情報を提供し、検査の質向上のためフォローアップ対応を実施することもあります。また、当会の臨床検査データ標準化事業の解析に使用することもありますので申し添えます。

◇メールアドレスのご登録のお願い

精度管理調査期間中に緊急で大切なお知らせ等は、申込み時に登録されたメールアドレス宛にお送りすることがあります。必ず受信可能なメールアドレスのご登録をお願いします。また、期間中はJAMTQCトップメニューのお知らせ、メールの確認を定期的にお願ひします。

◇評価について

評価は、指導改善を目的とし4段階での評価（評価A・B・C・D）とします。
具体的な評価方法については、施設別報告書に記載します。

◇注意事項

1. 本精度管理調査の申込みと回答は、Webからのみです。

『Webからの申込みと回答』が不可能な場合は、この調査に受検することができません。動作確認サイトをアップしています。画面右上にPDFで掲載している『参加施設向けシステム動作確認ガイド』を参照のうえ、動作確認を必ず行ってください。

《JAMTQCサイト》

当会ホームページ(<https://www.jamt.or.jp/>) トップページバナー
JAMTQC 参加施設向けシステム⇒左下 動作確認用サイトはこちら



⇒

- 調査の手引書、フォトサーベイ集はWeb画面に掲載しますので、必要なページをご覧ください。当会から印刷物やCD-R等での配付はありません。
- 施設別報告書、総括統計表、参加証は、2023年8月末頃にWeb画面へ掲載する予定です。また、参加証は、総合報告書の送付時に印刷したものを同封します。
施設別報告書と総括統計表は、当会から印刷物としての配付はありません。
- 施設内内部精度管理調査データの入力にご協力ください（別送付資料参照）。

VII. お問い合わせ先

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 事務局

〒143-0016 東京都大田区大森北4-10-7 Mail : jamt-survey@jamt.or.jp

※お問い合わせはmailでお願いします。

2023年度 日臨技臨床検査精度管理調査 POCT(Point of Care Testing)感染症項目 実施要領

呼吸器感染症における早期治療の指標となるPOCT (Point of Care Testing) の精度管理調査を、2022 (令和4) 年度調査より開始しております。貴施設において、該当項目につきまして自ら検査を実施していただけるご施設の積極的な受検をお願いいたします。

1. 調査実施日程 (予定)

1. 受検申込開始日時	2023年4月11日 (火) 午前10時
2. 受検申込締切日時	2023年5月5日 (金) 午後6時
3. 手引書Web公開	2023年8月30日 (水) 午前10時
4. 試料発送	2023年9月5日 (火) ※
5. 結果報告 (結果入力) 開始	2023年9月5日 (火) 午前10時
6. 結果報告 (結果入力) 締切	2023年9月21日 (木) 午後6時
7. 総括統計Web公開	2023年10月下旬 (予定)
8. 施設別報告書、参加証Web掲載	2023年10月下旬 (予定)
9. 受検料支払期限	2023年8月31日 (木)
10. 精度管理調査総合報告会	2023年11月下旬 (予定)
11. 精度管理調査総合報告書送付	2024年1月下旬 (予定)

※試料準備の都合上、6月実施分とは異なります。

2. 受検番号および受検料

受検番号	受検項目	受検料 (税込)
S21	POCTコース[インフルエンザA型抗原、インフルエンザB型抗原、アデノウイルス抗原、RSウイルス抗原、肺炎マイコプラズマ抗原、A群溶血性連鎖球菌抗原、SARS-CoV-2抗原]	12,222円

3. 受検項目

貴施設で自ら実施している検査項目のみ受検することができます。

※当該検査項目を外部に検査委託をしていないご施設のみ受検が可能です。

インフルエンザA型抗原	インフルエンザB型抗原	アデノウイルス抗原
RSウイルス抗原	肺炎マイコプラズマ抗原	A群溶血性連鎖球菌抗原
SARS-CoV-2抗原		

4. 受検申込み方法 ※申込み締切り後は、受付できません。

1) 申込みに当たって

本精度管理調査はWebを介してのみ受検、申込み頂いております。

精度管理調査のWebサイトに入るためには、「施設番号」、および「施設パスワード」が必要となります。当会登録施設には、「施設番号」、「施設パスワード」、および「実施要領」を2023年3月14日（火）に郵送しております。なお、この「実施要領」は日臨技ホームページ、JAMTQC参加施設向けシステムにも掲載しております。

※お申込みには、当会に施設登録が必要となります。

2) 申込み方法

当会のホームページ <https://www.jamt.or.jp/> より、トップページの上段左から2番目のバナー  をクリックし、『JAMTQC 参加施設向けシステム』から施設番号と施設パスワードを入力してログイン、『事務メニュー』⇒『精度管理事業』を選択してお申込みください。

なお、画面右上に『入力ガイド』を掲載していますので、ご参照ください。

※試料は充分用意していますが、申込期間内であっても受検申込数が試料準備数に達した場合は、その時点で受付を終了します。

※申込み受付終了後の申込み内容の変更、キャンセル等は一切お受けできません。

3) 受検申込み期限

2023年4月11日（火）午前10時～5月5日（金）午後6時 まで

5. 受検料の支払いについて

受検料の振込期限 : 2023年8月31日（木）厳守

※請求書の発行日は、受検申込締切日の2023年5月5日付となります。

受検料の支払方法 : 払込票（コンビニ及び郵便局払い）

※2023年度より、受検料の支払方法が「銀行振込」から「払込票」に変更となります。受検料の支払方法にご注意ください。

払込票は、精度管理調査申込画面『受付入力』－『請求先』にご入力された住所、担当者宛に郵送でお送りします。申込終了後の修正等はできませんので、ご入力内容にお間違いがないことをご確認いただき、お申込みをお願いします。

また、請求書の出力は従とおりの各施設でお願いします。出力方法は、JAMTQCシステムにログイン⇒『事務メニュー』⇒『精度管理事業』⇒『請求書』から出力できます。

以下の事項にご留意ください。

- 1) 「見積書」、「納品書」、「請求書」は、受検申込み締切り以降に『事務メニュー』から打ち出し可能となりますので、必要な場合は印刷してご使用ください。当会にて、受検料の入金確認後より領収書の印刷が可能となります。
- 2) 当会から発行いたします「見積書」、「納品書」、「請求書」などの信憑書類について、発行日の変更、押印等の対応はいたしません。ご承知おきください。当会では、申込確定日（締切日）を請求日としています。

6. 日臨技からのお願い

◇調査データの第3者への提供について

この精度管理調査の集計結果は、各都道府県、支部、経営主体別技師会などより提供の依頼があった場合や、担当役員・委員が必要と判断した場合に、当会執行理事会にて、そのデータ利用目的の妥当性を審議した後に、これを提供することがあります。また、不良評価に対してサポート事業の目的で、都道府県技師会へ情報を提供し、検査の質向上のためフォローアップ対応を実施することもあります。また、当会の臨床検査データ標準化事業の解析に使用することもありますので申し添えます。

◇メールアドレスのご登録のお願い

精度管理調査期間中に緊急で大切なお知らせ等は、申込み時に登録されたメールアドレス宛にお送りすることがあります。必ず受信可能なメールアドレスのご登録をお願いします。また、期間中はJAMTQCトップメニューのお知らせ、メールの確認を定期的にお願ひします。

◇評価について

評価は、指導改善を目的とし4段階での評価（評価A・B・C・D）とします。
具体的な評価方法については、施設別報告書に記載します。

◇注意事項

1) 本精度管理調査の申込みと回答は、Webからのみです。

『Webからの申込みと回答』が不可能な場合は、この調査に受検することができません。動作確認サイトをアップしています。画面右上にPDFで掲載している『参加施設向けシステム動作確認ガイド』を参照のうえ、動作確認を必ず行ってください。

◀JAMTQCサイト▶

当会ホームページ(<https://www.jamt.or.jp/>) トップページバナー
参加施設向けシステム⇒左下 動作確認用サイトはこちら



⇒JAMTQC 参加

2) 調査の手引書はWeb画面に掲載しますので、必要なページをご覧ください。

当会から印刷物やCD-R等での配付はありません。

3) 施設別報告書、総括統計表、参加証は、2023年10月末頃にWeb画面へ掲載する予定です。

また、参加証は、総合報告書の送付時に印刷したものを同封します。

施設別報告書と総括統計表は、当会から印刷物としての配付はありません。

7. お問い合わせ先

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 事務局

〒143-0016 東京都大田区大森北4-10-7 Mail: jamt-survey@jamt.or.jp

※お問い合わせはmailでお願いします。

（編集後記） 3年ぶりの行動制限のない年末年始を迎え、第8波が増幅傾向にあり、加えてインフルエンザが3シーズンぶりの流行の兆しを見せる昨今ですが、このコロナ禍の3年間で様々な経験をして対応してきました。近畿支部検査医学会の開催は第7波の終息後の開催でしたが、Withコロナを見据えると共に新しい学会形式の在り方を提案していただきました。検査と健康展も各地で創意工夫をしながら各地で久しぶりに開催され、国民の皆様へ健康への意識、検査技師のPRができて非常に有意義なものとなりました。学会および検査と健康展に関わった方々お疲れ様でした。

最後に医療に携わる読者の皆様感染に気を付けながらコロナの波を乗り切りましょう。 （棚村）